

○行政手続きにおける押印の見直しについて

デジタル化を推進していく上でその支障要因となっている行政手続きにおける押印の見直しを行うことは、新型コロナウイルス感染症の感染防止のみならず、業務そのものの見直し及び効率化が図られ、行政サービスの効率的・効果的な提供にも資することとなることから、国の取り組みにあわせて、魚津市においても、押印の必要性を厳しく検証し、印鑑証明を求める場合など真に必要な場合を除き、押印を廃止することとし、規則及び要綱等の改正を順次行っています。